

R6年度保育園における自己評価のまとめ

一部検討を要し、今後さらに向上を目指す点（改善点）

2. 保育について

- 保育についての話し合いをより多く設けるようにはしているが、共通認識や、情報の共有はできているが、今後さらに深く掘り下げて課題や気付きの検討改善を・見直しを考えていく。

4. 行事について

- ねらいを明確にし精査してきてはいるが、今後も子どもにとって有益な行事であるのか、伝統文化、季節を感じられるものであるのかなど、より一層明確なものにしていく。

6. 運営について

- 各種会議、打ち合わせについて時間の確保が難しい分、効率よく行っているが、内容は必要最小限のものになってしまっている。検討が必要。

8. 研修・研究について

- 各々が積極的に研修に取り組める体制と、自ら学ぼうとする意欲を持続する大切さを認識する。

1 1. 保護者支援について

- 懇談会の実施や、相談しやすい環境づくりを引き続き整えていく。

1 2. 開かれた保育所づくりについて

- 園庭開放についてはコロナ以降定期的な実施が行えておらず、又実施する余裕を見いだせないでいる。また、実習、職場体験の受け入れについては、その数が年々減少する傾向にある。社会情勢の影響も考えられるが、機会があれば受け入れ、保育情報の発信の場となることも意識する。

1 3. 情報について

- ホームページを充実することで情報発信を充実させる。

引き続き行いより向上を目指す点

- 保育に携わる中での疑問や難しさ、個々への関りの共通理解について話し合い共有することで、チームでの保育の向上へつながっている。
- 保育においてゆとりがないことに葛藤しながらも、待つことやゆっくり話を聞こうとすること、時間は要するが子どもに委ねることなどを意識して心がけることを、各々が自覚している。
- 健康管理、保健衛生安全指導については、毎日の生活、活動において行っていることが、習慣として定着していくように、繰り返し行う。その中で変更、検討や個別対応を柔軟に行っていく。
- 園外研修に参加した時は、報告によって研修内容を共有できるようにし、全員で学ぼうとする意識を持つ。
- 園内研修を計画的に行うことで、研修の時間を確保すると同時に、内容を自分たちで決めることにより、取組む意欲を高めることを目指す。